



「ういてまで!」水難事故から命を守るあいことば 自由ヶ丘中で着衣泳体験

7月9日(水)、自由ヶ丘中8年生(中学2年生)が「ういてまで!」体験をします。

この授業は、一昨年7月に宮若市で起きた痛ましい水難事故を受け、その防止を目的に行い、不意に海や川に転落した際、靴をはいたまま・服を着たままで水に浮いて救助を待つ「着衣泳」の技術を学びます。夏場は水辺で遊ぶ機会が増え、それに比例して水難事故も増えます。またその多くが着衣状態で発生しており、その対処法を知ることとは命を守るうえで非常に重要です。

生徒は服や靴を着用した状態で水に浮いて救助を待つ技術を、プールに浮く実技を通して学びます。昨年は「服を着たまま浮くのはこんなに大変だと思わなかった」「自分の命は自分で守れるようになりたい」という感想が寄せられ、命の大切さを考える真剣な表情が見られました。

当日は、訓練の様子や生徒、指導員へのインタビューも取材いただけます。

【着衣泳「ういてまで!」講習】

日 時: 7月9日(水)8:55~10:45、10:55~12:45

(2クラス合同で2時間ずつ。)

場 所: 自由ヶ丘中 プール (宗像市朝町1019-4)

参加生徒: 8年1組~8年4組(合計132人)

ゲストティーチャー: 福岡着衣泳会の指導員

講習内容: 解説→靴の実験→入水→ウェイディング→背浮きの練習(呼吸法、ペットボトルの持ち方、浮き方)→タイムトライアル→落水者を見つけた時(二次災害の防止、通報、浮く物を投入)→ライフジャケットや身の回りの浮く物紹介→まとめ



《昨年度の「ういてまで!」体験の様子》

【福岡着衣泳会】

2004年設立。(一社)水難学会が認定する着衣泳指導員と補助指導員で構成するボランティア団体。

福岡市在住のメンバーを中心に構成し、水難学会の指導方針に沿って「ういてまで!」の普及を行っている。

【問い合わせ先】※取材いただける場合は事前にご連絡ください

【授業について】 自由ヶ丘中学校 担当: 教頭・瀧口 電話: 0940-33-3767

【取材について】 宗像市教育総務課 担当: 松藤 電話: 0940-36-5099